

公益財団法人 住友電工グループ社会貢献基金 事業報告書

(自平成28年4月1日至平成29年3月31日)

1. 事業の概要

(1) 平成28年度の事業概況

第8期の平成28年度は、住友電気工業株式会社から寄付金160,858千円余(カフェテリアプランを通じた寄付金858千円余を含む)の寄付を受け、事業として大学講座寄付8件、実施金額87,000千円と、奨学金支給141名、実施金額36,909千円余、学術・研究助成31件、実施金額37,902千円余の、総額161,811千円余の助成事業を実施しました。

		実施金額
(イ) 大学講座寄付	8件	87,000千円
(ロ) 奨学金支給	141名	36,909千円余
(ハ) 学術・研究助成	31件	37,902千円余
合 計		161,811千円余

(2) 平成28年度の経理状況

事業活動収支は、収入面では、寄付金収入として住友電気工業株式会社から160,858千円余(カフェテリアプランを通じた寄付金858千円余を含む)の寄付を受け、これに基本財産運用収入18,793千円余を加え、収入合計は予算対比2,370千円余増の179,652千円余となりました。

一方、支出面では、事業費支出はほぼ当初計画通りに実施しましたが、国内学生向け奨学金が当初計画した20名から4名減になったこと、海外現地学生向け奨学金のうちベトナム・ハノイ工科大学への送金が翌年度になったことなどから、予算対比4,448千円余減の162,471千円余となりました。

管理費支出は、旅費交通費が当初計画に比べ減少したことなどから、管理費合計では予算対比1,311千円余減の14,108千円余となり、事業活動支出合計は予算対比5,759千円余減の176,580千円余となりました。

投資活動収支については、今年度も国債を購入しておりませんので投資有価証券取得支出はございませんでした。

以上の結果、当期収支差額は3,071千円余の黒字となり、前期繰越収支差額13,360千円余とあわせて16,432千円余を次期に繰り越しました。

指定正味財産増減計算は、今期、基本財産の増減はなく、期末の指定正味財産は2,000,000千円余で変動はございません。

(3) 平成28年度事業

平成28年3月17日開催の第33回理事会で決議・承認された事業計画に基づいて、次の大学講座寄付、奨学金支給、学術・研究助成を実施しました。

(イ) 大学講座寄付

産業社会の発展に資する優れた大学講座(エネルギー・バイオテクノロジー・医療をはじめとする最新テクノロジー探求、地球温暖化・環境保全等現代の諸問題への対応研究、ものづくりや起業家(アントレプレナー)をはじめとした次世代を担う優れた人材の育成など)に対し寄付を行うもので、継続案件6件に加え、新規の大学講座2件を選考し、合計8件、総額87,000千円の寄付を行いました。

大学名	講座名	金額 (千円)
大阪大学 大学院工学研究科	ものづくり技術者、研究者養成講座	4,000
神戸大学 大学院海事科学研究科	津波マリンハザード研究講座	10,000
京都大学 工学研究科光・電子理工学 教育研究センター	工学の高度人材に対し、科学技術 アントレプレナー育成のための実践的教育	10,000
電気通信大学	IT 融合とビッグデータ利活用イノベーション 人材(データアントレプレナー) 育成講座	8,000
東京大学 産学連携本部	実践的若手アントレプレナーの育成、教育	2,000
広島大学 大学院医歯薬保健学研究院	小胞体マイクロフラグメント解析による疾患病態の理解 と臨床応用	20,000
北海道大学 (※) 大学院医学研究科	糖鎖生物学的アプローチによる各種疾患の病態解明と その臨床応用	18,000
山形大学 (※)	アジアの水・食・健康リスク講座	15,000
合 計		87,000

(※) 新規案件

(ロ) 奨学金支給

日本で就学する外国人留学生、国内学生及び海外の大学に在学する現地学生のうち、学業並びに他の分野でも模範となるよう研鑽に努め、専門分野のみならず幅広い知識と見識を求め、大学・大学院においては科学技術分野を専攻する学生を対象として、平成28年度は、選考の結果、下記の奨学生に対し、奨学金を支給しました。

日本の外国人留学生	奨学生	実施額 (千円)	実施時期		
	継続 (※1) 9名 東京大学1、京都大学1、大阪大学1、 東北大学1、名古屋大学1、一橋大学1、 東京工業大学1、慶應義塾大学1、 早稲田大学1	9,600	平成28年4月～ 平成29年3月		
	新規 9名 東京大学1、京都大学1、大阪大学1、 東北大学1、名古屋大学1、一橋大学1、 東京工業大学1、慶應義塾大学1、 早稲田大学1	10,800	平成28年4月～ 平成29年3月		
	計 18名	20,400			
日本の国内学生	継続 17名 北海道大学1、山形大学1、東北大学1、 筑波大学1、東京大学1、東京工業大学1、 早稲田大学1、慶應義塾大学1、京都大学1、 大阪大学1、神戸大学1、名古屋大学1、 広島大学1、九州大学1、関西大学1、 同志社大学1、立命館大学1	6,120	平成28年4月～ 平成29年3月		
	新規 16名 北海道大学1、東京大学1、東京工業大学1、 静岡大学1、早稲田大学1、慶應義塾大学1、 東京理科大学1、京都大学1、大阪大学1、 神戸大学1、岡山大学1、広島大学1、 九州大学1、関西大学1、同志社大学1、 立命館大学1	5,760	平成28年4月～ 平成29年3月		
	計 33名	11,880			
海外の大学 現地学生	中国	蘇州大学	20名	約1,047	平成29年2月
		中山大学	10名	約463	平成28年8月
		武漢理工大学 (※2)	10名	約466	平成28年8月
		上海外国語大学	10名	約508	平成28年11月
	タイ	泰日工業大学	20名	約996	平成28年8月
		キングモンクット 工科大学	20名	約1,148	平成28年11月
	計	90名	約4,629		
合計	141名	約36,909			

(※1) 継続奨学生9名のうち2名は平成28年9月をもって奨学金支給を終了

(※2) 新規支給校

(ハ) 学術・研究助成

科学技術の進歩や産業社会の発展に寄与する優れた研究、自然科学や社会科学の基礎研究、資源・地球環境・ライフサイエンス等現代の重要課題に関する研究、産業のイノベーションが期待できる研究など特に、持続可能・循環型社会、超高度情報化社会、省資源社会、長寿・高齢化・介護社会の本格的到来や世界的な都市化の進展が見込まれる中、主としてこれらの社会ニーズに対応する研究に対し助成するもので、平成28年度は、応募総数168件の中から選考の結果、31件、総額37,902千円余の助成を行いました。

(研究者50音順、敬称略、単位：千円)

氏名	所属	職位	テーマ	助成金額
安田誠	大阪大学	教授	脱貴金属と省資源を指向する、ベースメタルと有機骨格の協同作用触媒の新概念	1,500
北西卓磨	大阪市立大学	講師	海馬体神経回路における投射先特異的な情報伝達の解析	1,500
児玉謙太郎	神奈川大学	特任助教	非制御多様体解析による跨ぎ越え動作の下肢協調性の定量評価	1,250
西晃弘	カリフォルニア大学ロサンゼルス校	テュアトラック助教	精神的健康の社会格差と攻撃行動に関するソーシャルネットワーク実験	1,202
鈴木基史	京都大学	教授	光機能材料を吸収層に用いた完全吸収体の実現と高機能光学ナノ構造の提案	1,650
寺島崇矢	京都大学	助教	環状骨格ポリマーを基盤とする機能性精密多孔材料の開発	1,550
永木愛一郎	京都大学	講師	遷移金属フリー拡張π共役系分子のフローマイクロリアクター合成	1,750
山田崇恭	京都大学	助教	メタサーフェス構造を利用した新機能電磁材料の最適設計法の開発	950
Ialnazov DimitarSavov	京都大学	教授	日本と中国の再生可能エネルギー政策による太陽光産業への影響に関する研究	1,100
矢野憲一	熊本大学	教授	人体に痛みとして感知されない超短パルス高電界を利用した無痛癌治療法の開発	800
立川貴士	神戸大学	准教授	磁場効果を利用したバイオイメージング技術の開発	1,200
松原崇	神戸大学	助教	脳機能画像における個人差と環境差を考慮した統一的診断プラットフォーム開発の基礎	1,750
鍛山儀恵	自然科学研究機構	准教授	多点間水素結合相互作用を活用する高活性キラル分子性触媒の創製	1,100
池沢道男	筑波大学	准教授	半導体ナノ構造の共鳴光励起による区別のつかない光子の発生	1,100
西堀英治	筑波大学	教授	金属材料の電子密度分布からの機能構造相関抽出法の開発	1,100
丸本一弘	筑波大学	准教授	有機太陽電池の素子特性劣化機構の解明と高効率化・長寿命化	1,200
内田宏昭	東京大学	講師	全身投与可能ながん標的化改変ヘルペスウイルスによる転移性悪性腫瘍の治療法開発	1,200
三宮工	東京工業大学	講師	電子線を用いた複素光電場のナノスケールマッピング	1,000
大野誠吾	東北大学	助教	モアレパターンに生じるトポロジカル位相の電磁場への転写による光過配列の生成と観測	1,200
齋藤望	東北大学	助教	競争的自己触媒化学反応系の開発と分子論理システム構築への展開	1,100
横田有為	東北大学	准教授	難加工性合金材料の直接線材化技術の開発	550
宮本理人	徳島大学	助教	生活習慣病治療を指向したエネルギーセンサー分子AMPKの新たな活性調節機構の解明	1,200
坪井昭夫	奈良県立医科大学	教授	脳血管障害の革新的治療法の実現につながるメカニシグナル機構の解明	1,500
中野敏彰	広島大学	助教	放射線が誘発する高密度DNA損傷の解析	1,600
大場雄介	北海道大学	教授	宿主細胞への吸着阻害インフルエンザウイルス感染抑制法の実現	1,050
高橋幸裕	北海道大学	助教	有機固体表面をレアメタルの代替とする試み	1,200
橋本あり	北海道大学	助教	進行癌のエクソソームを介した薬剤耐性獲得の分子機序の解明と新規癌治療戦略の開発	1,250
松島永佳	北海道大学	准教授	高速プローブ顕微鏡による原子アーキテクに基づく燃料電池触媒材料の創製	1,100
生方俊	横浜国立大学	准教授	分子量変換材料による光表面レリーフの高性能化	1,100
鷹尾祥典	横浜国立大学	准教授	持続可能な宇宙開発に不可欠な超省電力マイクロ宇宙推進機の実現	1,500
松澤幸一	横浜国立大学	准教授	燃料電池の抜本的なコスト低減に貢献する酸化物系触媒の高活性化	650
				37,902

2. 役員・評議員（平成29年3月31日現在）

(50音順)

役名	氏名	主たる職業
理事長	松本 正義	住友電気工業株式会社 社長
常務理事	賀須井良有	住友電気工業株式会社 常務取締役
理事	井上 治	住友電装株式会社 代表取締役執行役員社長
	西村 義明	住友理工株式会社 取締役会長 兼 CEO
	松澤 佑次	一般財団法人住友病院 院長
	吉川 弘之	国立研究開発法人科学技術振興機構 特別顧問
監事	高坂 敬三	色川法律事務所 弁護士
	谷 信	住友電気工業株式会社 常務取締役
評議員	伊東 浩司	甲南大学 スポーツ健康科学教育研究センター 教授
	小畑 英明	日新電機株式会社 代表取締役社長
	新宮 壽人	株式会社テクノアソシエ 代表取締役社長
	菅沼 敬行	住友電設株式会社 特別顧問
	竹中 裕之	住友電気工業株式会社 常任顧問
	田中 茂	住友電気工業株式会社 顧問
	西本 清一	地方独立行政法人京都市産業技術研究所 理事長 公益財団法人京都高度技術研究所 理事長
	三野 哲治	住友ゴム工業株式会社 相談役

(注) 理事 井上治氏は平成29年3月31日付で辞任し、後任の川井文義氏が4月1日付で就任いたしました。

3. 主要な事業経過

平成28年 6月3日	第34回理事会（書面決議） <ul style="list-style-type: none">・第7期定時評議員会招集の件・第7期定時評議員会付議事項の件
6月15日	第35回理事会開催 <ul style="list-style-type: none">・平成27年度（第7期）事業報告及び計算書類等承認の件 第7期定時評議員会開催 <ul style="list-style-type: none">・評議員3名選任の件・理事3名選任の件・監事1名選任の件
	第36回理事会開催 <ul style="list-style-type: none">・役付役員選任の件・事務局長選任の件・平成28年度事業（奨学金支給）実施の件・平成28年度選考委員選任の件
6月29日	第1回選考委員会開催 <ul style="list-style-type: none">・申請書類閲覧及び選考方法確認の件
6月30日	第7期臨時評議員会開催（書面決議） <ul style="list-style-type: none">・平成27年度（第7期）事業報告及び計算書類等承認の件
9月28日	第2回選考委員会開催 <ul style="list-style-type: none">・平成28年度大学講座寄付先選考の件・平成28年度学術・研究助成先選考の件
10月14日	第37回理事会開催 <ul style="list-style-type: none">・平成28年度 大学講座寄付の対象者並びに寄付金額決定の件・平成28年度 学術・研究助成の対象者並びに助成金額決定の件
平成29年 3月6日	第38回理事会 <ul style="list-style-type: none">・平成29年度事業計画及び同収支予算承認の件・平成29年度事業（奨学金支給）実施の件
3月17日	第39回理事会（書面決議） <ul style="list-style-type: none">・第7期第2回臨時評議員会招集の件・第7期第2回臨時評議員会付議事項の件
3月21日	第7期第2回臨時評議員会開催（書面決議） <ul style="list-style-type: none">・理事1名選任の件